

2024 年 11 月 20 日

社会貢献事業委員会 県民の日 活動実施記録

社会貢献事業委員会
委員長 村武宏紀

1. 概要（埼玉県資料より）

日時：令和 6 年 11 月 14 日(木) 午前 10 時～午後 4 時

場所：埼玉県庁

内容：庁内各課所や関係団体による資料展示や体験イベント、物品販売を実施する。

青年部は環境部廃棄物指導課の展示ブースに共同出展する。

（共同出展は今回 4 回目。2019 年、2022 年、2023 年）

2. 当日の内容

産業廃棄物指導課との共同開催で、廃棄物に対する意識アンケート・3 S 運動の啓蒙・埼玉県環境産業振興協会の紹介を目的に、県庁オープンデーにて出展を行った。

埼玉県庁、南玄関本庁舎に対して東側にテントブース（2 張り分）とごみ収集車を展示した。

●産業廃棄物処理に関する意識アンケート実施

産業廃棄物指導課にご用意いただいたノートパソコン 5 台を使用して、産業廃棄物処理に関する意識アンケートを実施した。今回より、2 パターンのアンケート内容とした。（小学生以下、中学生以上（大人））

アンケートにご協力いただいた方に、ノベルティグッズとしてカトラリーセットの配布を行った。カトラリーセットは 600 個を用意した。また、産業廃棄物指導課用意の不法投棄防止キャンペーンチラシも配布した。

●会社紹介動画放映

青年部プロモーションビデオと協会員各社の施設動画・全産連の動画を、ブース中央に配置したモニターを使用して放映した。

●ぬりえ缶バッチ製作体験実施

事前に用意した下地にぬりえし、缶バッチ製作マシンを使用して、オリジナル缶バッチを製作してもらった。缶バッチ製作マシンは環境部より借用したものと、環境産業振興協会で購入したものの 2 台を使用した。缶バッチハーツは 550 個を用意した。

●ごみ収集車の展示、乗車体験実施

三栄興業のごみ収集車を展示し、乗車体験、写真撮影を行った。安全管理上、車輛の稼働は行わなかった。午後一時行列が途切れることもあったが、多くの人が集まった。

●関東ブロック関連①～動画撮影～

本年度は関東ブロックで各都県の活動紹介動画を撮影するとのことで、埼玉県は本事業を選んだ。基本的には業者に依頼し、自然体の写真を撮影してもらった。途中で鈴木部会長のインタビュー等もはさみながら、朝から終わりまでスムーズに対応してもらった。撮影した写真、動画は作成でき次第提供してもらえるので、確認していく。

●関東ブロック関連②～他県視察～

関東ブロック内での他県交流の一環として、今回のような行事を視察し、自分の件に活かすような動きがある。今回は群馬県の部会長と、関東ブロック統括幹事（神奈川県）の2名が参加した。2人にはぬり絵コーナーの案内役としてお手伝いをいただいた。埼玉県青年部側のアテンドは、顔なじみの鈴木部会長、齊藤直前部会長、千田統括、設楽委員長におこなっていただいた。「規模が大きすぎてすごい。非常に参加校になった。」と感想をいただいた。

●産業廃棄物処理に関する意識アンケート実施 回答数 596 名

（中学生以上：468名、小学生以下：128名）

●ノベルティグッズ、カトラリーセット 600 個＋粗品 20 個配布

●缶バッジパーツ 550 個使用

3. 当日の参加者

参加人数、延べ 40 人（廃棄物指導課職員を除く）

青年部会員、女性部会員、会員企業各社の協力もあり、スムーズな対応が行えた。

【当日の参加者】

当協会青年部 ●終日参加：26名 ●午前参加：6名 ●午後参加：5名

協会事務局 ●終日参加：3名

産業廃棄物指導課 ●交代で3～5名が常時在中

	会社名 (女性部)	氏名 (女性)	参加時間		
			終日	午前	午後
1	㈱三栄興業	鈴木 郁会長	1		
2	㈱タカヤマ	齊藤 直前 部会長	1		
3	㈱タイセイリサイクル	千田 統括 幹事	1		
4	㈱ショーモン	岡崎 副部会長		1	
5	都築興産㈱	遠藤 副部会長	1		
6	石坂産業㈱	北嶋 副部会長	1		
7	㈱環境サービス	原 部会長	1		
8	㈱シタラ興産	設楽 賢太 委員長	1		
9	㈱タカヤマ	村武 委員長	1		
10	㈱ケイ・エム環境	宮田 委員長	1		
11	ツネイシカムテックス㈱	齊藤 副委員長	1		
12	㈱山一商事	米山 副委員長			1
13	ウム・ヴェルト㈱	小久保 副委員長	1		
14	㈱スリーエイサイズ	鈴木 副委員長	1		
15	㈱タカヤマ	後藤 究	1		
16	㈱タカヤマ	玄理 沙	1		
17	㈱タカヤマ	渡邊 紗斗美	1		
18	㈱三栄興業	河村 亮輔	1		
19	㈱三栄興業	渡邊 諭史	1		
20	㈱ショーモン	川岡 聡	1		
21	㈱ショーモン	内田 雅人	1		
22	石坂産業㈱	石坂 迅		1	
23	クリーンシステム㈱	山崎 操	1		
24	クリーンシステム㈱	原田 祐輔		1	
25	クリーンシステム㈱	五十嵐 太		1	
26	クリーンシステム㈱	中村 尚弥		1	
27	クリーンシステム㈱	群馬 蓮美		1	
28	クリーンシステム㈱	菊地 和論			1
31	ツネイシカムテックス㈱	李 子昂	1		
32	ウム・ヴェルト㈱	高下 歩香	1		
33	ウム・ヴェルト㈱	豪 騎士	1		
34	ウム・ヴェルト㈱	小島 史愛	1		
35	㈱シタラ興産	坂本 幸哉			1
36	㈱クリーンテックサーマル	清水 由紀子	1		
37	㈱クリーンテックサーマル	馬場 健一郎			1
38	㈱クリーンテックサーマル	戸倉 悠輔			1
39	㈱クリーンテックメディカル	和賀 彩加	1		
40	事務局	金子 高彦 理事	1		
41	事務局	石田 部長	1		
42	事務局		1		
			29	6	5

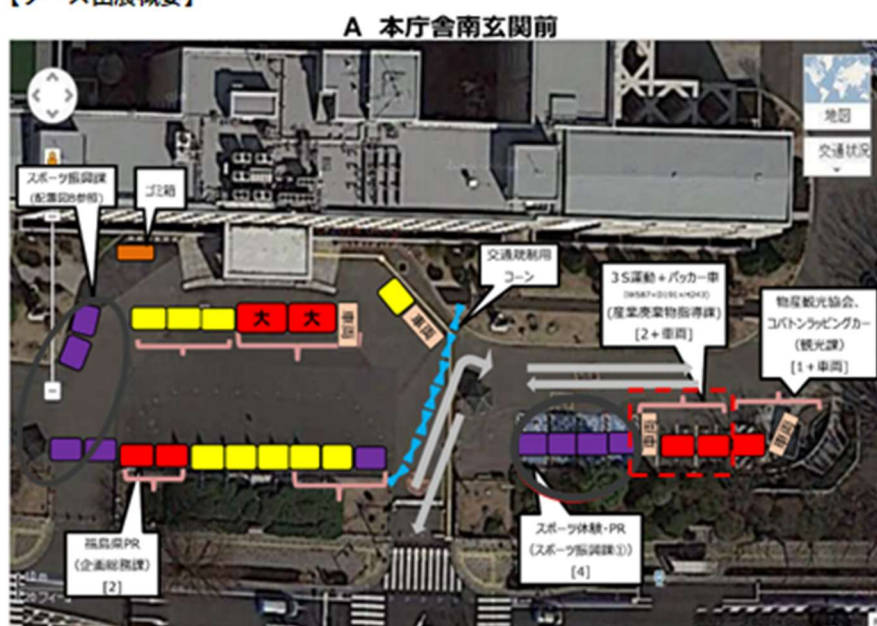
4. 役割

【各担当の大まかな役割】10月末時点

配置	役割	担当（敬称略）	
アンケート対応補佐 常時3名	産業廃棄物指導課にてPC3台でアンケートを行う 来場者には着座にてPC操作をしてもらう 産業廃棄物指導課の方も3名程度常駐してもらう	小久保	岡崎
		齊藤（ツ）	川崎（シュ）
		神原（ツ）	内田（シュ）
ノベルティ配布 常時2名	アンケートに答えていただいた方に、 ノベルティのカトラリーセットをプレゼントする	宮田	小島（ウム）
		石坂	
		五十嵐（ク）	野島（ケ）
缶バッジ製作 常時2名	缶バッジ製作機で、オペレーション担当を行う ぬりえが終わったお客様の缶バッジ製作を手伝う	遠藤	米山
		後藤（タ）	
		設楽	（シタキ）
缶バッジ用ぬりえ補佐 常時2名	お客様に缶バッジの下地（丸く型抜きした紙）に ぬりえをしてもらう。ぬりえのアシスタントを行う。 来場多数の際は並んでいただき、案内する	渡邊（タ）	
		玄（タ）	
		山崎（ケ）	
スタンプラリー、モニター 常時2名	環境部によりスタンプラリーを行う予定。 スタンプを求めて来られた方に案内・対応を行う モニターはエンドレスの放映を予定。	原	
		高下（ウム）	
		星（ウム）	
テント前来場者対応 常時4名	テント前に並ばれるお客様の対応と、 青年部のチラシを配布する		
		原田（ク）	群島（ク）
		中村（ケ）	菊地（ク）
パッカー車展示ブース 常時3名	パッカー車の展示 運転席に乗って記念撮影をしてもらう。 パッカー車の稼働はNG	鈴木空	
		河村（三）	
		坂道（三）	
総合対応		鈴木 部長	
		千田 統括幹事	
		齊藤 部長	
		金子 常務理事	
		石田 部長	
		北嶋 副部長	
		村 武	

5. 展示ブース配置図

【ブース出展概要】



●ブース出展位置

埼玉県庁本庁舎正面東側の2区画

●ブース出展内容

- ①産業廃棄物指導課作成のアンケートを実施する
産業廃棄物指導課の担当者の方が2～3名常時ブースに在中していただく。
- ②カトラリーセットの配布を行う
アンケート回答者にノベルティグッズとして配布する。(AM300、PM300セット)
- ③モニターにて動画を放映する
企業紹介PVを常時放映する。古い内容もあるので、原部会長にて動画を編集する。
- ④青年部作成の境界、3S運動PRパンフレットを配布する
廃棄物指導課より、不法投棄防止パンフレットを100部配布を予定している。
- ⑤缶バッジ製作体験実施
缶バッジ44mmの缶バッジを制作する。
台紙も塗り絵方式で、自作感を味わってもらう
缶バッジ製作機は廃棄物指導課より借りるものと、青年部で購入するもの
2台体制で行う。
- ⑥バギー車乗車体験実施
バギー車運転席の乗車体験、写真撮影を楽しんでいただく。(稼働不可)

●ブース出展要員

終日班 集合9:00 16:00まで
午前班 集合9:00 13:00まで
午後班 集合12:00 16:00まで

[illegible]

※デント1張につき、長尺2本・イス2脚が標準で用意される。
今回が限りで長尺1本・イス2脚が標準で用意される。

【今回の坑・イスの必要数】

- 机 = 10台 (6名不足)
- イス = 20脚 (16脚不足)

机6台・イス16脚の不足分は、座席配置の修正は間にできず、当日朝に指示を頂き運び込み

6. 経費

【経費】

今回の経費は合計213,919円です。

※税込み

	品目・発注先	数量	単価	金額	備考
1	●カトラリーセット 株式会社トランス（ネット販売・販促スタイル） https://www.hansoku-style.jp/products/detail/5264 事務局にて手配・購入	600	165	¥99,000	ノベルティ
2	●缶バッヂマシン44mm 株式会社ベック https://www.badge-man.net/index.php?main 村武にて手配・購入	1	46,640	¥46,640	体験コーナー
3	●缶バッヂ・パーツセット追加44mm 株式会社ベック https://www.badge-man.net/index.php?main 村武にて手配・購入	2	7,472	¥14,944	体験コーナー
4	●ポスター用アルミフレーム 株式会社MonotaRO https://www.monotaro.com/g/01607460/?t.c 村武にて手配・購入	3	3,817	¥11,451	備品
5	●ぬりえ用下地の紙（一般的なコピー紙より厚手のもの） 上質紙・厚み0.14mm（50枚入り） スーパービバホーム 村武にて手配・購入	1	1,144	¥1,144	備品
6	●スタッフ用弁当（炊き込みご飯弁当・190MLお茶セット） 株式会社くるのし 事務局にて手配・購入	30	1,080	¥32,400	雑費
7	●埼玉会館利用料（体験室用に利用） 埼玉会館 事務局にて手配・購入	1	8,340	¥8,340	雑費

¥213,919



7. 準備・開催までの流れ（記録）

●5月24日（金）

青年部通常総会において、各事業委員会の組織編制や事業計画が確定した。青年部の社会貢献事業活動は、産業廃棄物指導課との意見交換を目的とした座談会、県民の日ブース出展を主たるものをする計画と定めた。

●7月19日（金）

青年部と産業廃棄物指導課の座談会を実施した。①3S運動活性化について（参加者をどう増やしていくか）、②今年度の県民の日ブース出展について、③日常課題の意見交換について意見交換を行った。その中で、県民の日ブース出展について、基本的には前年度の内容を踏襲すること、廃棄物に関する意識アンケートは大人と子どもの2種類に変更することなど、取り決めた。

●9月上旬

廃棄物指導課渡辺様からいただいた「県庁オープンデー出展確認書（屋外ブース）」に必要な事項を記入し、提出した。ごみ収集車乗車体験に使用する車両、搬出入車両情報をこの書類で届け出るもので、この時までには車両を決めないといけない。ブースのコマ数や、電源に関しても同書類にて申請するが、それは廃棄物指導課渡辺様が記入する。

環境部所有の缶バッチ製作を今年度も借りられることが決まる。

●9月20日（金）

鈴木部会長、北嶋副部会長、小久保副委員長、石田部長、村武にて、県民の日ブース出展に関する打ち合わせを行った。ノベルティグッズの内容、プロモーションビデオの内容、リーフレットについて、缶バッチ製作マシンの新規購入検討、参加目標人数策定などを打ち合わせた。その後の青年部会議において、県民の日ブース出展に関する企画を説明した。

●10月8日（火）

産業廃棄物指導課渡辺様と鈴木部会長、北嶋副部会長、小久保副委員長、石田部長、村武にて打ち合わせを実施した。

アンケートの内容に関してや、ブース出展のイメージや必要備品について、当日の流れなどについて意見交換、共有を行った。

また、缶バッチ台紙を提出した。埼玉県委託業者にてくり抜き作業を行っていただく。

●10月中旬

参加者を募る。メールで青年部会員にお知らせし、googke フォームにおいて回答をいただいた。女性部は石田部長よりお声がけいただいた。

A1 ポスターデータを産業廃棄物指導課渡辺様にメールで提出した。印刷していただく。

●10月下旬

参加者を確定させ、役割分担を計画した。昼食は終日参加者+2個を協会より注文す

ることとした。

廃棄物指導課渡辺様とメールで、ブース内で使用する机や椅子の数などの詳細の打合せを行った。また、当日の車両導線について説明をいただいたほか、駐車証をいただいた。

●11月13日（水）前日

14:30 協会よりノベルティグッズ、備品運び出しをおこなった。

15:00 産業廃棄物指導課分室に運び入れ、仮置きしてもらった。

ノベルティグッズ、文具、ユニフォーム、のぼり旗、ポスター、ポスターフレーム、缶バッジ製作マシン、缶バッジパーツ等

A1ポスター、缶バッジ台紙を受け取った。

●11月14日（木）当日

8:00 主要メンバー集合

鈴木部会長、齊藤直前部会長、北嶋副部会長、原副部会長、村武
三栄興業社員

9:00 青年部会員、女性部会員、協会員社員、協会職員午前中参加者集合

9:30 オープニングミーティング（相良副課長、金子常務理事、鈴木部会長）

10:00 開場（9:40 くらいには来場者あり）

13:00 午後から参加者集合

15:30 クロージングミーティング（相良副課長、鈴木部会長）

16:00 閉場、後片付け

8. 次回以降の課題

●天候

今回は天候に恵まれたが、雨天時の対応も想定しておいた方が良い。

●当日案内

休憩時間と場所の確保と指示を明確にする。

喫煙場所の案内も行う。

●昼食

昼食会場の案内図を用意しておく。

昼食のローテーションを予め決めておく。今回はリーダーの采配で調整した。

出欠確認時、昼食の申し込みを合わせて行う。

終日参加者だけではなく、AM のみの参加者にも昼食を用意していきたい。

一斉休憩時間を設けることも検討したい。

●役割分担

リーダーを予め決めておく。

写真撮影係を決めておく。

休憩時間のシフト表が事前にあると、時間管理や休憩有無の管理がしやすい。また、休憩時間を使用して他のブース観覧もできれば、今後の参考にもなる。

●展示ブース全体

一見どこの課の何のブースか分かりにくかった。横断幕のようなものを検討する。

のぼりには「埼玉県環境産業振興協会青年部」のものを使用しており、「環境部産業廃棄物指導課」の文字がない。廃棄物指導課に用意してもらうかも相談する。

人手が多くなると、A 1 ポスター看板が見えづらくなってしまう。

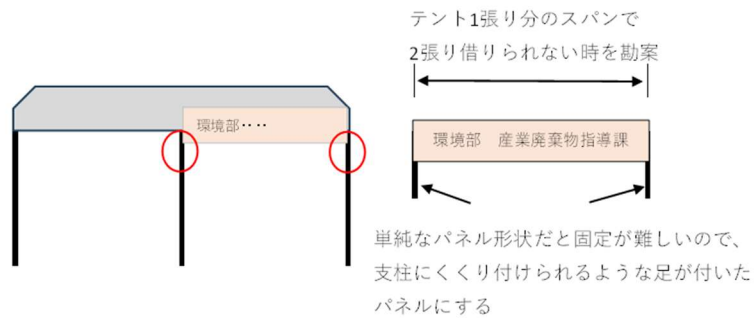
缶バッジ製作体験、スタンプラリー、意識アンケート、ごみ収集車乗車体験、この 4 種ののぼりを用意したほうが良いかもしれない。

行列ができた際、最後尾を知らせるプラカードを用意しておいた方が良い。

ごみ収集車、アンケート、スタンプ、缶バッジと 4 つのイベントがあり、それぞれの並ぶ列を明確にできるようにしたい。

案内担当者がブース前でポスターを前面・背面に着けて案内してくれており、有効であった。





●産業廃棄物処理に関する意識アンケート

当日の対応者に準備段階で事前にアンケート内容の把握ができる時間を設ければ良かった。

埼玉県がご用意された ASUS のタブレットの調子が悪くアンケート途中や最後の申し込みで WEB 回線が切れ、待機状態が発生してしまい、スマートフォン申し込みに変更などが生じた。

PC やタブレット操作になれていないご年配者やお子さんは説明を受けながら回答するので時間がかかるが、スマートフォン QR コード読み込みによる回答は普段から使用しているという点で回答に時間かからない印象を受けた。その両立が今後も望ましいと感じる。

スマートフォン QR コード読み込みによる回答は有効であったが、対応スペースを決めておく必要がある。また、それに対応する人員も増やすべきである。

ノベルティグッズとしてカトラリーセットを 3 年連続配布しているので、他のものを検討したい。

ノベルティグッズは時間前に配布し終わってしまったので、数を増やすべきである。

●会社紹介動画放映兼スタンプラリー受付

会社紹介動画放映モニターとスタンプラリースタンプ台を一緒にしていたため、人手に紛れて動画が見えづらい状況にあった。

放映する動画の内容や、動画放映自体を続けるべきか検討したい。

●ぬりえ缶バッジ製作体験

台紙は絵柄を変えたり、増やしたりしてもいいかもしれない。コバトンは人気。白紙や各社の車両写真、イメージキャラクター、ロゴなど。台紙はフチになって切れてしまう範囲がわかるように○の枠があると良かった。切れてしまい残念がる子もいた。親御さんたちを意識アンケートに誘導するのに苦戦したので、缶バッジ製作体験コーナーでも QR コード読み取り対応できた方が良いかもしれない。

筆圧の関係で色鉛筆ではうまくぬれない小さな子供もいた。

色鉛筆等の不足はない。鉛筆削りの穴に指を入れた子供がおり、ひやりとした。鉛筆削りはしまっておく。その他、安全対策は講じていきたい。

ベビーカーを置くスペースを確保しておきたい。

缶バッジブースでは、入口出口を分けたほうが良い。

案内係は、予め製作した缶バッジを身につけて案内する方が効果的である。

●ごみ収集車の展示、乗車体験

「パッカー車」という業界用語ではなく、「ごみ収集車」を表現すべきである。

クラクションを鳴らしてしまうことがあり、周囲を驚かせてしまった。

2t 車の方が昨年度の 4t 車よりも場所の兼ね合い上、好ましい。

